

校番	18	学校名	大柿高等学校	校長氏名	細川 洋	全・定・通	本
----	----	-----	--------	------	------	-------	---

1 ミッション(地域社会における自校の使命)

地域から信頼される学校として存続

2 ビジョン(使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像)

<ul style="list-style-type: none"> ・勉強や部活が一生懸命でき、より高いレベルの進学や就職のできる、明るい学校 ・江田島市内から常時2割以上の生徒の入学

3 環境分析

大柿高校の生徒数及び地元4中学の生徒数

	H25	H26	H27	H28	H29
地元中学三年生生徒数	190	168	154	150	152
新入生人数	32	24	26	21	33
地元中学からの新入生	29	22	23	17	26
地元入学率	15.3%	13.1%	14.9%	11.3%	17.1%
全校生徒数	68	65	74	68	78

過去4年間の進路状況

	H25	H26	H27	H28
卒業生人数	19	15	26	22
大学	1	2	3	0
短大	0	0	0	0
専門学校	3	1	4	4
公務員	1	0	0	3
就職	10	9	18	14

・地元からの入学生が5年連続 20%未満であり、多くの地元中学生が進路実績や部活動の状況、校内外の問題行動の状況から他校を選択し、島外への進学を選んでいる。

・安易な進路選択をする傾向が強く、高い志を持たせることができていない。(9年間国公立大学合格者を輩出していない)

4 目標の設定

学校経営目標						
達成目標	評価指標	実績値	目標値			担当部等
		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
1 勉強や部活が一生懸命でき、より高いレベルの進学や就職のできる、明るい学校						
基礎・基本的な知識・技能を習得させ、社会で必要とされる資質や能力を育てる。	学力調査 学校平均通過率	35.7%	40.0%	45.0%	50.0%	教務部 各教科
「主体的な学び」を創造し、それを活用する課題対応能力を養う。	生徒の授業理解度の肯定的な割合	新規	60%	70%	80%	
	各教科において、生徒が主体的に表現する場面を設定する	新規	月 1 回	月 2 回	月 3 回	
生徒の希望進路を実現する	国公立大学・公務員試験合格者(人)	0	1	3	5	進路指導部
	進路希望(第 1 希望)合格率(%)	79	90	95	100	

生徒一人一人の進路実現にむけて、全教職員による組織的な指導をする	進路検討会議、進路研修など(回/年)	1	3	3	3	
	進路指導部による生徒との面談(回/年)	2	3	3	3	
遅刻をなくす	1日当たりの遅刻者数(人/日)	6.76	4.0	2.0	1.0	生徒指導部
部活動加入率を上げる	部活動に加入している割合(人/全校生徒)	57%	60%	80%	95%	
地元入学率2割以上	入学生徒数	17%	20%	25%	30%	管理職全職員

5 行動計画

達成目標	本年度行動計画	中期行動計画	担当部等
1 勉強や部活が一生懸命でき、より高いレベルの進学や就職のできる、明るい学校			
基礎・基本的な知識・技能を習得させ、社会で必要とされる資質や能力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を明確にし、学習の意味を認識させ、学習活動に見通しを持たせる。 ・授業規律を確立し、言語活動を取り入れた授業実践を行い、実社会で求められる基本的な態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・習得した知識・技能を活用できる力をつけさせる。 ・個々の学習活動を的確に評価し、学習意欲を高める。 	教務部各教科
「主体的な学び」を創造し、それを活用する課題対応能力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学年及び教科において、「主体的な学び」につながる具体的な方策を実施する。 ・教育研究主任を中心として、月1回の研修会を行い、学習状況の把握と指導法の協議を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に学習に取り組む姿勢を育成する。 ・学習の成果を確認する機会を計画的に設定し、教科の指導力と学力を向上させる。 	
生徒の希望進路を実現する	<ul style="list-style-type: none"> ○国公立大学・公務員志望の生徒に対して、個別指導を行う。 ○内定率を12月末で100% 	<ul style="list-style-type: none"> ○国公立大学、公務員試験の合格者1名以上を継続する。 ○最終内定率100%を継続する。 	進路指導部
生徒一人ひとりの進路実現にむけて、全教職員による組織的な指導をする	<ul style="list-style-type: none"> ○進路検討会議、進路研修会を実施し、全教職員が各生徒の指導方針を共有する。 ○定期的な生徒面談を実施し、情報を共有して全教職員が統一した指導方法のもと、組織的な指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路指導のしおり、進路指導マニュアルを活用して、3年間を見通した組織的な指導をする。 	
時間を守らせる指導を行う	<ul style="list-style-type: none"> ○遅刻者に対して入室許可証を発行し、全教職員が組織的に指導する。 ○生徒指導規程に従った遅刻指導の徹底。 	<ul style="list-style-type: none"> ○遅刻防止強化週間を月に1度設ける。 ○無遅刻生徒の表彰を行う。 	生徒指導部
共感的な人間関係を育成する	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動に加入し、継続して活動することを促し、自己有用感を高揚し、互いに尊重し合う人間関係を援助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動の成果を、学年集会などで披露したり、紙媒体で校内に掲示し、認め合うことで部活動を活性化させる。 	
地元入学率2割以上	<ul style="list-style-type: none"> ○各分掌の進捗状況を確認し、的確に指導助言を行う。本校の取組状況をタイムリーに情報発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地元小・中学校の研究授業や学校説明会に積極的に参加する。 	管理職全職員